

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第305号 平成10年5月



『青梅銀座にて』 石井好明

目

次

	頁		頁
1. 理事会報告	広報部 … 2	4. 文芸隨筆諸事百般	
2. 会員通知・医師会の動き	事務局 … 7	義歎古近物語	安富一夫 … 13
3. 各部だより		ピッグバンII	西村邦康 … 15
学術インフォメーション	学術部 … 10	5. 地区だより	
青梅市立総合病院外来診察分担表		福生地区	岩尾芳郎 … 17
広報部 … 12		6. お知らせ	事務局 … 17
		7. 表紙のことば	石井好明 … 18
		8. あとがき	樋口昭夫 … 18

理事会報告★ *Information***4月定例理事会****平成10年4月8日****西多摩医師会館****【1】 報告事項**

(I) 都医定時代議員会・総会報告

(玉木理事)

(II) 各部報告

(担当部長)

(地域医療部) 病院部会設立に向けて病院経営の各委員が懇談を行った。

(III) 各地区会よりの報告

(各地区長)

(青 梅) 4月22日役員会予定。

(福 生) 4月6日地区総会。決算・予算を承認。

(羽 村) 4月14日地区総会。決算・予算を承認。

(あきる野) 4月18日地区総会を予定。

(瑞 穂) 役員(地区長 高水先生、副地区長 新井先生)決定。

(日の出) 特になし。

【2】 報告承認事項

(I) 入会会員について

— 承認 — (玉木理事)

【3】 協議事項

(I) 平成10年度新執行部職務分掌について

各委員の内訳については4月20日までに事務に提出。

(II) 平成10年度第1回定時総会日程について

5月29日(金) 承認。

(III) 平成9年度事業報告(案)について

4月20日までに訂正あれば、すますこと。

(IV) その他

(1) 理事会運営について

新理事のために、理事会運営の手引きを配布した。

(2) 備品の廃棄処分について

下記物品の廃棄処分を承認した。

宛名印刷機(手動式) 応接セット 事務机(木製) 椅子 ガスストーブ

4月定例理事会**平成10年4月21日****西多摩医師会館****【1】 報告事項****(1) 都医地区医師会長協議会報告**

(宮川会長)

1. 都医からの伝達**(1) 東京都保健所における一般健康診断の見直しについて**

- ★ 多摩地区では7月より民間医療機関にて健康診断（受験・就職の為等）を行う。
それにともない、アンケート調査を行う。

(2) 東京都難病医療費公費負担制度の改正について

- ★ 平成10年5月1日より患者一部負担を導入する予定。重症度によって負担の有無も異なってくる。重症度認定については各医療機関において行う。

**(3) H.I.V感染者の療養支援に関する都医合同プロジェクトチーム報告書について
支援体制の確立に向けて報告書ができた。****(4) 医療費通知（国保・老人）等について**

- ★ 平成10年5月分は平成10年8、9月までに、平成10年9月分は平成10年12月、11年1月までに。
通知内容は、受診年月、受診者名、入院、通院、歯科、薬局、医療費の額。

(5) 旧様式（B5様式）による診療報酬請求書等の業務処理について**(6) 健康保険診療報酬点数表等の改正に伴う労災診療費の取り扱いについて****(7) 介護保険アンケート調査結果等について****(8) 老人保健施設設置状況について**

48ヶ所。

(9) 訪問看護ステーション設置状況について

206ヶ所。

(10) 都市型診療所に関する調査の実施について

アンケート調査をするので協力してもらいたい。

(11) 関東甲信越ブロック共同利用施設連絡協議会について

平成10・11年度西多摩

() 内 担当副会長 ◎印 担当部長 ○印 担当副部長 ★印 委員長

		部 長	担 当 理 事		
副会長 真鍋 勉 会長代行	副会長 大堀 洋一	学 術 部 (大 堀)	◎横田卓史・○小机敏昭・坂本保己	学術委	
		地 域 医 療 部 (大 堀)	◎石田信彦・○坂本保己・丸野仁久 横田卓史・玉木一弘・小机敏昭 神尾重則	地域医	
		公衆衛生担当	◎丸野仁久・○石田信彦・星野 誠	公衆衛	
		学校医担当	◎星野 誠・○天野了一・片平潤一	学校医	
		産業医担当	◎片平潤一・○玉木一弘・丸野仁久		
		病院・救急担当	◎坂本保己・○神尾重則・唐橋善雄	病院・	
会長 宮川 栄次	副会長 大堀 洋一	広 報 部 (真 鍋)	◎神尾重則・○片平潤一・横田卓史	会報編	
		保 険 部 (大 堀)	◎唐橋善雄・○石田信彦・坂本保己 玉木一弘・天野了一・横田卓史	社保指	
		経 理 部 (真 鍋)	◎小机敏昭・○石田信彦・唐橋善雄	国保指	
		総 務 部 (真 鍋)	◎玉木一弘・○小机敏昭 福祉主担当 片平潤一 副担当 天野了一	ニュー	
				福祉委	
				医事紛 (電話)	
				保健所	
医道審議会委員			(委員長) 平林信隆・(副委員長) 塩澤三朗		
西多摩地区医療保健衛生協議会「医療協」			★大堀洋一・真鍋 勉・小机敏昭・玉木一弘		
地区名	青 梅	福 生	あきる野	羽 村	
地区長名	大堀洋一	林 實	小机敏昭	真鍋 勉	
副地区長名	石田信彦	玉木一弘	樋口昭夫	横田卓史	
			天野了一		

医師会各部分掌表

平成10年4月21日

委員会名	委員名		
員会	★横田卓史・新井敏彦・小机敏昭・坂本保己・鈴木孝寿・野本正嗣 村山正昭・森本晉・諸角強英・渡辺良友		
療部	★石田信彦・坂本保己・丸野仁久・横田卓史・玉木一弘・小机敏昭 神尾重則・星野誠・天野了一・片平潤一		
生委員会	★丸野仁久・石田信彦・奥野仁・唐橋善雄・林實・星野誠 小机敏昭		
委員会	★星野誠・青山彰・天野了一・内田萬次・馬詰良比古・奥野仁 片平潤一・神尾重則・唐橋善雄・川辺隆道・瀬戸岡俊一郎・高水松夫 樋口昭夫・百瀬眞一郎・横田卓史		
救急委員会	★坂本保己・神尾重則・唐橋善雄・川辺昌道・石田信彦・高水松夫 山川淳二・北島和一・玉木一弘・馬場真澄		
集委員会	★神尾重則・石井好明・片平潤一・清水佐和道・高水松夫・田村啓彦 樋口昭夫・横田卓史		
導整備委員会	★唐橋善雄・天野了一・伊藤敬一・馬詰良比古・大堀洋一・奥野仁 笠井富貴夫・川口卓治・栗原琢磨・小林杏一・坂本隆夫 瀬戸岡俊一郎・高水松夫・田代洋・館野進・蓼沼翼・玉木一弘 野本正嗣・樋口昭夫・百瀬眞一郎・山口太平・山田英敬		
導整備委員会	★石田信彦・青山彰・秋山静夫・荒巻武彦・市原宏・河内泰彦 三枝襄二・齐藤信幸・篠原秀隆・島井新一郎・清水佐和道 田中穂積・田村啓彦・成田章・波田野洋夫・東吉男・細谷純一郎 山下和雄・山田登・横田卓史		
メディア委員会	★中野和広・玉木一弘・樋口昭夫・卞在正・山下和雄		
員会	★片平潤一・天野了一・森本晉・卞在正		
争処理委員会 苦情処理 110番)	大堀洋一・川崎健一郎・堤次雄・玉木一弘・小机敏昭・高水松夫		
単位地区責任者	(多摩川) 大堀洋一・玉木一弘 (秋川) 小机敏昭		
・木野村幸彦・波田野洋夫・星和夫・山口岱三・湯川文朗			
・高水松夫・丸野仁久・横田卓史・渡辺良友・川辺隆道・片平潤一・神尾重則			
日の出	奥多摩	桧原	
川崎健一郎	川辺隆道	内田萬次	
湯川文朗			

- (12) 健やかTOKYOの広告料について
地区医師会の広告料を15万円とする。

2. 協議事項

なし

3. 地区医師会からの報告

- (1) ホームページの開設について (田無市医師会)
- (II) 各部報告 (各担当部長)
- (産業医) 本会産業医研修会開催要領報告。
7月25日(土) 12:55~18:10 青梅市立総合病院講堂
- (地域医療) 医療保健衛生協議会開催について。
4月28日(金) 午後1時~2時まで 西多摩医師会館にて
- (III) 各地区会よりの報告 (各地区長)
- (青梅) 役員会予定。
- (福生) 特になし。
- (羽村) 今後の協議事項として、保険整備委員の産婦人科医定数について提案あり。
- (あきる野) 特になし。
- (瑞穂) "
- (日の出) "

【2】 報告承認事項

- (I) 入会会員について —— 承認 —— (玉木理事)
- (II) 平成10・11年度保険整備委員の委嘱について —— 承認 ——
- (III) 会費の減額申請について —— 承認 ——
星野医院 星野 稔先生 (77才になられた為)

【3】 協議事項

- (I) 平成10年度新執行部各種委員会委員の推薦について —— 承認 ——
- (II) 平成9年度事業報告(案)の承認について —— 承認 ——
- 平成10年度第1回定期総会議題の承認について —— 承認 ——

(III) その他

本会互助会新役員について —— 承認 ——

西多摩地域産業保健センターについて

- (1) 平成9年度地域産業保健センター事業の清算報告について
総会で報告。
- (2) 平成10年度地域産業保健センター事業の受諾について
- (3) 平成10年度健康相談及び訪問指導の当番表について

会員通知

- 女子医大医師会産業医研修会開催について
- 平成9年度第2回総会報告
- 会報
- 「改正診療報酬点数表参考資料」の正誤表等の送付について
- 東京都国民健康保険一部負担金等一覧表
- 国保組合（22組合）の被保険者証の更新について
- 東京都の国民健康保険・保険者一覧表
- 「第21回日本プライマリケア学会」の開催について
- 平成10年度日本医師会認定健康スポーツ医制度実施に伴う各種申請の受付期間等について
- 国保組合の一部負担金割合の改正並びに東京都の国保組合の被保険者証の更新について
- 疑義照会・届出先一覧表
- ポスター（東京都の難病医療費助成）
- 青梅市医師会主催学術勉強会案内



各部だより



学術部 Information



《5月の学術講演会》

① 5月25日(月) 7:30 pm~ 於: 西多摩医師会館講堂

演題名: 「高血圧と脳血管障害」

講 師: 東京医科大学老年病学助教授 岩 本 俊 彦 先生

② 5月26日(火) 7:30 pm~ 於: 西多摩医師会館講堂

演題名: 「微小胃癌」

講 師: 日本医科大学永山病院内視鏡科部長 松 久 威 史 先生

〈学術講演会聴講メモ〉

平成10年3月20日(金)

演題名: 「B型肝炎、C型肝炎——最近の話題」

講 師: 青梅市立総合病院消化器科部長 宮 川 ハ 平 先生

(1) C型肝炎最近の話題

① インターフェロン (IFN) の治療効果に関する因子

(a) ウイルス側因子

- ・ウイルス量: 100 k/ml 以下は効果大。
- ・ウイルスの遺伝子型: セロタイプ2型は効果大。
- ・塩基多様度: N S 5 A領域の変異が多い(4個以上)と効果大。

(b) 宿主側因子

- ・年齢、性: 高齢者、男性は効果おちる。
- ・組織の進展度: 線維化が軽度のものは効果大。

② IFNの保険診療の適応拡大

- ・C型慢性肝炎に適応が拡大されたため、肝生検が必須項目でなくなり、非活動性慢性肝炎にも使用可能となった。(IFN β のみ)

③ 慢性肝炎の診断指標

- ・活動性（壊死、炎症反応）はGPTでみる。
- ・線維化のマーカーとしては、ヒアルロン酸、IV型コラーゲンが組織との相関がいい。
- ・血小板数による組織の予測：20万以上は正常。17万以下は非活動性。15万以下は活動性。10万以下は肝硬変。

④ IFN難治例の治療対策

- ・IFN投与方法の工夫：決定的なものはない。
- ・強ミノC、ウルソ、小柴胡湯を選択あるいは併用してGPTを低下させる。目標値はGPT80以下。（肝癌発生率低下）

⑤ IFN治療の評価

- ・IFN著効例と再燃例では発癌率が低い。
- ・抗ウイルス効果によるHCVの排除及び肝炎の治癒という短期効果だけでなく、肝癌の発生予防という長期効果も重要。

(2) B型肝炎最近の話題

① HBVマーカーの臨床的意義

- ・HBs抗原陰性、HBs抗体陽性者ではHBc抗体もチェックすべきである。
- ・HBc抗体が抵抗体値の場合は過去のHBV感染である。高抗体値の場合はHBs抗原陰性でもHBV感染状態と考える。

② ウィルス変異と病態との関係

- ・セロコンバージョン（HBe抗原陽性からHBe抗体陽性となること）とは野生型HBVが消失して変異型HBVが残るということである。（HBe抗体陽性となつてもトランサミナーゼが変動することあり。）
- ・HBs抗原の共通抗原基(a)におけるエスケープ変異による変異株の出現→HBワクチン不応例の出現。

③ B型慢性肝炎の治療

- ・抗ウイルス療法：IFN28日投与。
- ・免疫療法：ステロイド離脱療法、セロシオン（プロバゲルマニウム）。最近はあまり行なわれない。
- ・新しい治療法：IFN6ヶ月投与（保険では認められていない）。ラミブジン（Lamivudine）経口投与。

(付) • 新型肝炎ウイルス（TTウイルス）の出現：詳細不明、患者のイニシャルよりTTと命名した。

B型肝炎、C型肝炎についての臨床の進歩、最新情報が網羅された非常に有意義な講演でした。

(野本)

広報部

青梅市立総合病院 外来診察分担表

平成10年4月10日現在

診療科	月	火	水	木	金	備考
総合担当	桜井(徹)	川嶋・石橋	吉川	野口	福岡	専門別担当医
新患担当	宮川・金沢	今井	太玉	坂井(紳)	石橋	循環器病 消化器病 血液病 リウマチ 膠原病 腎病 甲状腺病 神経内科
血液内科	原	原	今井(誠)	今井(誠)	原	坂本・金沢・芦川 宮川・細井・本田 今井・小山 桜井(徹) 栗山・石橋・吉川 原・桜井(紳) 松本
内分泌代謝科			桜井(紳)			
腎センター	栗山	(石橋)	(吉川)	栗山	(石橋)	
呼吸器科	大玉	高野		大玉	高野	
消化器科	宮川	細井	本田	宮川	細井	井田
循環器科	坂本	芦川	金沢	坂金	本沢	川
外科	正木	山田	宇田	宇田	山田	
胸部外科	佐野	金田	藤田	森田	佐野	
脳神経外科	森	宮崎	山田	鬼頭	宮崎	
整形外科	巣根	山本	堀横	田山	巣根	山崎
産婦人科	妊婦	高野	古賀	小陶	倉守	石川依光
	婦人科	陶小依	守倉光	高陶古石	野守賀川	高依小野光倉
皮膚科	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木	田嶋	
泌尿器科	友石	伊達	岡本	友石	宮崎	
小児科	加藤	崔谷岡	八平	林谷藤	平加	林岡谷
眼科	瀬口、福井	瀬口、福井	医科歯科大	福井	瀬口、医科歯科大	
耳鼻咽喉科	石川	石戸川叶	竜川招へい	戸叶	石戸川叶	
神経科	新患	石平黒山	横田		落合	荻田
	再発	落合	落合	石黒		石黒
	再来	平山	横田			荻田
放射線科	午前	佐藤(IVR)	田中	佐藤	星(眞)	田中
	午後				佐藤	
リハビリテーション科	中島(翻のみ)	中島	中島	中島	中島(翻のみ)	
口腔外科	吉田	佐野	休診	高久	竜佐今野井	

※ 内科の()は予約



義歯古近物語

安富一夫

ヒトは種々の原因で身体本来の機能を失うことがあります。失った機能を回復するため適応した装置が考えられております。例えば、虫歯で歯を失ったり、年をとて歯が抜けますと、咀嚼機能は著しく低下します。実験によると、第一大臼歯を一本失うことで、咀嚼能率は五〇%以下になると言います。この機能を回復するための装置が、俗には「入れ歯」、正しくは義歯です。義歯は咀嚼器官を代用するのですが、機能回復装置として最も優れています。義眼は外見だけで見る機能はありませんが、義歯は外見は勿論、咀嚼機能も生来の歯と同じです。

この素晴らしい義歯作製の技術（歯科補綴術）は「何時頃からあったか」を知るため、歯科医学史を調べて見ました。

歯科医学史上、世界最古の総義歯は、近代歯科学の父、ピエール・フォーシャール氏が、一七三七年に作ったものであると言われております。口元を整え発音を良くしたいと希望した老婦人に頼まれ、当時は製作が不可能と言われていた上顎総義歯の製作に初めて成功し、婦人には大変に喜ばれたそうです。

この世界最初の総義歯の装着方法は、現在の歯科で一般に行われている方法とは違いまして、下顎の義歯と上顎の義歯とをクジラの髭や金属のバネを使って結合し、跳ね擧げるバネの力をを利用して、落下したがる上顎の義歯を支える工夫がしてあります。

製作依頼の患者さんが希望が、口元を整える事と発音が良くなることでしたから、これでも喜ばれたものと思います。多分、お喋りとワインで乾杯位の舞踏会用の義歯であったように思います。咀嚼することも出来たそう

ですが、ホントかなと言うのが私の本音です。

日本では、徳川時代の初期に総義歯が作られたと言う史伝はあります、残念ながら証拠の品はありませんでした。ところが、一九二七年、徳川三代将軍家光に仕えた柳生飛驒守宗冬の墓を調査したところ、遺体と共に上下一揃いの総義歯が発見されました。

この義歯は、ツゲの木を彫刻して義歯床（義歯の台、直接口腔粘膜に接触する部分）を作つてあるので、木床義歯と言います。歯は蠟石を彫刻し、木床に嵌め込んであります。

柳生飛驒守宗冬は一六七五年九月二九日、六一歳で亡くなりました。この頃、義歯を使うヒトの平均年齢が四〇歳位と言いますから、フォーシャール氏の義歯製作に先立つこと約一〇〇年、日本には義歯製作の技術があったことになります。

昭島市の歯科医師平田幹男博士のご好意によって、木床義歯の製作法を研究している方、八王子市で歯科医院を開設されている、日本歯科医史学会々員新藤恵久博士を紹介して頂き、更に、新藤先生の論文が掲載されている学会誌のコピーまで頂きました。

新藤先生から頂いた、自著「木床義歯の文化史」と研究論文「木床義歯の製作法」によりますと、今まで知られているわが国最古の木床義歯は、天文七年（一五三八）、七四歳で往生した仏姫が使用したと伝えられる木床上顎総義歯です。技術水準からみて一六世紀初期には既に木床義歯製作技術はほぼ完成していたと言います。四五〇年も前の木床義歯ですから、柳生飛驒守宗冬の総義歯の記録より更に古い木床の総義歯です。義歯の床面

は、粘膜の凹凸に合わせて彫刻してあり、特別な付属装置なしで粘膜面に圧着すれば、落下しなかったのです。

粘膜に密着させれば上顎の義歯は落下しない。この素晴らしい着想の持ち主が日本が居たのです。余分な装置はなく、現在と全く同じ方法ですから、話をすることも咀嚼することにも支障はなかった筈です。

義歯製作法は、顎の陰型を採り、その型から顎の陽型を作る時には蜜蠟を使ったと言います。大変に立派な技術です。ツゲの木床の粘膜面は、この陽型を土台にして擦り合せ、口腔粘膜に当たる所を削り、トクサで磨き、試着を繰り返して連合させたのです。使えるまでには、随分と日数を必要としたと思います。義歯は巧妙な彫刻技術で作られており、その手腕から見て、最初に作ったのは、佛像や佛具を作った佛師と言われています。

海外でも有床義歯（床のある義歯）が作られるようになり、義歯床の材料は、ゴム床、金属床、人工樹脂床と夫々の時代色を映して構築材料が変わりました。

木床から始まった我が国にも、海外のそれらの技術が輸入され、欧米の歯科補綴術を学んで義歯製作がはじまり、外見、重量、装着感が改良され、現在に到りました。

さて、ここに平田博士の論文があります。義歯と磁石を取り合させて、義歯の装着・維持がもっと良くなるという、将来に向かって義歯の在り方を示す研究論文です。

その論文から次のようなことを知ることができました。近年、有床部分義歯・総義歯を支持する装置として、永久磁石（磁性アタッチメント）を使い、その吸引力・反発力を利用して義歯を固定する試みがなされています。

磁石を補綴物の維持、安定に利用する発想で、一九五三年、ゴールドスミスが「義歯と人工歯」を書き、磁石の歯科利用を米国特許局に出願しました。これが磁石の歯科利用の最初であると言います。

磁性アタッチメントは、機械的装置には無い数々の特性があり、基礎研究や臨床研究の

経緯からみても将来性のある支持装置として認められました。平田先生の研究論文でも、磁性アタッチメントの発展の経緯を、各種文献の涉猟しながら検討してあります。

一九五〇年代前半から一九七〇年代前半の頃に吸引力や反発力を利用するには、cm単位のフェライト、白金コバルト磁石を使う必要がありました。

一九七〇年半ば過ぎ、高性能の稀土類磁石が実用化され、国内、海外で歯科応用が検討され、数mm単位で十分な吸引力のある新型磁石の研究が始まり、一九九二年、わが国では、稀土類磁石を用いた磁性アタッチメント製品が、使用されるようになりました。

義歯に使う強力な小型の磁石の材質や技術は勿論、応用面の義歯設計・製作に関しては、わが国が世界一のレベルにあるそうです。

今は義歯に縁のないあなた方が、義歯を装着される頃には、さぞ良い義歯が出来ていると期待出来ます。喜んで頂ける事と思います。

最後に素晴らしい話をかい摘まんで紹介しましょう。新藤先生の著書「木床義歯の文化史」に、元陸軍歯科軍医、中村喜一先生の「シベリアの義歯」と題する話があります。

日本は太平洋戦争で敗戦。中村先生は捕虜として、新京陸軍病院から捕虜輸送の列車に詰め込まれ、エラブカBラーゲルに収容されました。この話は先生が収容所内で歯科診療所を開設されていた時の話です。

収容所内では、歯科治療の道具も薬品も乏しかったのですが、色々と苦心して歯科医療に使えそうなものを集め、工夫を凝らして兵隊さんの治療に明け暮れた毎日がありました。先生ご自身は、おざなりの治療しか出来なかつたと言っておられますですが、大変な苦労であったと推察できます。

捕虜収容所という、今では想像も出来ない絶望的な環境にあっても、豚の歯と鉄条網の針金で「継続歯」を作ったり、ちょっとした義歯破折の修理に飯盒のアルミを使用したり、今なら考えも付かない発想と作業をされ、患者さんにはより良い歯科治療をと努力される

先生の姿は、患者さんから見れば神にも仏にも見えたに違いありません。

ある日、使用できぬ程に義歯を破損した患者さんが診療所に来ました。義歯を踏み付けたのです。診察してみると上顎は無歯顎、下顎は右下の小白歯が二本残っています。

患者さんは、義歯がないので下顎が安定せず、咀嚼ができず、睡眠できないために、栄養状態も悪くなり、衰弱が始まりました。しかし、収容所で破損義歯の修理は望めません。医療器具も歯科用補綴材料もないからです。

気の毒に思い、なんとか治療をしようと苦慮されていた中村先生は、突然、柳生飛驒守の話を思い出したのです。絞っていた頭の中から、ヒヨックリと木床義歯が出てきたわけです。運の良い患者さんです。

更に運の良いことには、歯科診療所の前に工芸班の工作室があり、美術彫刻の先生、帰

国後に上野の西郷さんの銅像を修理されることになる山本雅彦先生（山本早雲先生のご子息）が作業されていたことです。

熱心な歯科医師を一流の美術彫刻家が協力して、義歯床の素材を探し、彫刻作業に必要な道具、歯堤の型を採得するための石膏・美濃紙・マーキュロ液やら医療器具の材料を調達し、木床を磨くトクサを集め乾燥させ、多くの日数はかかりましたが、トクサ磨きの立派な木床上顎総義歯と下顎部分義歯を、捕虜収容所内と言う特殊な世界の中で完成させたのです。お蔭で患者さんも元気を取り戻しました。後日、患者さん、歯科医師の中村先生、彫刻家の山本先生も、揃って無事帰国されました。

中村先生、山本雅彦先生は、夫々の分野で今でも活躍されておられます。本当に、めでたし、めでたしの話でした。（参考書は省略）

ビッグバンII ー外総診ー

日医FAXニュースを読んで

西 村 邦 康

3月下旬の西多摩医師会保険講習会で『外総診の重複算定』が当日の講師から問題提起された。4月8日の日医FAXでこの外総診の重複算定について高齢者は同時に多くの疾患を併発する為現在の外総診制度の考え方には無理がある、早急なる改善が望まれ日医としても複数医療機関で外総診を算定できるよう働き掛けていく所存であるとコメントし、厚生省の重複算定の一時的認定の要件を付記した。これで老人医療健康手帳の存在の確認が改めて求められた。

1) 老人保健法による健康手帳の位置付け

老人医療は老人保健法による医療の取扱い

および担当に関する基準（昭和58年1月20日衛老第7号）によって患者が提示する健康手帳により医療を受ける資格を確認し現物給付を行い医療の記録欄に所定の事項を記載するとし、同時に患者は健康手帳を提示し、健康手帳には被保険証等を添えなければならないとされている。

西多摩医師会では昭和58年2月10日の『西多摩医師会報臨時号 老人医療制度の改正』で資格の確認として健康手帳・医療受給者証、保険証の確認が必須と保険部、木野村先生が解説され周知されていた。

しかし当時は我々は老人保健法制定の狙いは老人医療費の効率化と人口の高齢化に伴う

老人医療費の増加の抑制であり、その目的の為に医療以外の事業即ち保健事業の実施が目玉と考えていた。当時私は自治体のこの保健事業の実施率の向上に地元自治体と共に腐心していた記憶がある。老人医療の取扱いは療養担当規則遵守と保険証、医療受給者証の確認でよく健康手帳と医療の記録記載等医療と健康手帳の係わりを重要視していなかった。また自治体も健康手帳の個別交付は昭和62年6月以前は行わず規定の個別交付は昭和63年からであった。しかも当時の健康手帳には国の規定で定められた受給者証と一連の医療の記録欄はなく別刷りの医療の記録欄が別綴じの形となっていた。規定通りの手帳は平成9年度からである。更にこの健康手帳には70才以上のものと40才以上に交付する2種類のものがあった。このように健康手帳の位置付けは自治体も我々と同様不明確であった。

2) 医療ビッグバン

今まで我々は健康保険は医師のプロフェッショナルフリーダム（医師の自由裁量権）を尊重すべきで医療費増加は医術の進歩による当然の事と考え右肩上りの経済で医療の55年体制ともいえる爛熟期を経験してきたが今はまさに厳しいビッグバンの時代である。

高齢社会と少子化で社会保障費の世代間の負担問題、老人医療費増嵩による老人保健拠出金=保険料率UP等社会保障制度が検討されている。そこで緊急課題として老人医療費抑制がクローズアップされてきた。この医療ビッグバンは医療経済学の問題で医療費抑制が主題であるが医療関係者は先進医療高次医療の保険適応、その受け皿の供給体系の整備を医療ビッグバンと考えている嫌いがあり急性期、慢性期対応としての医療機関の機能分化に目が向いている。老人医療費抑制策は医療費の対費用効果の実践でその具体策の疾患別包括化の対応には提言が見られない。しかし現実は甘くなく厚生省は厳しく市場経済主義規制緩和の名のもとに医療保険システムの効率化を計っている。そして介護保険制定時

のマネージメント手法を医療にも適応して診断群別包括払い方式（DRG—PPS）や介護保険にみられる支給限度額上乗せ、横だし（市町村特別給付）の混合医療を考えているようである。このことを踏まえると外総診、外総診重複の問題もこの観点から検証する必要がある。上記の日医の外総診制度の考え方には無理があり、早急な改善を望むというコメントはプロフェッショナルフリーダムの延長で同時に時流の規制緩和に一見沿い診療所、中小病院の経営改善のインテンシブを与えたように見え我々も容認し易いようである。しかしそこが問題で医療保険に保健をからませ先に唾をつけた者の早い者勝、また話し合いで取決めるという制度は保険になじまないし当事者間の関係を損ねる恐れがある。唾をつけた者がかかり付け医（介護保険の）これもまた介護保険とも関係し問題である。

3) まとめ

今回の外総診の問題は医療と保健のミックス（1. 保険証受給資格証以外に保健の健康手帳の確認 2. 医療記載の縛り）や医療保険、介護保険、老人保健法等の関連や社会保障費の世代間負担問題等々21世紀の医療制度の根幹である諸問題を考える機会を提起したものと思う、この問題はプロフェッショナルフリーダムを唱え良き時代？を過ごしたオールド派では無く世代間負担を現実に負担する若い世代の医師が現状容認の彌縫策ではなく、社会保障制度の根源といま問われている医療の質（医療水準）に見合った保険給付制度を専門的知識をもとにその方策を提言すべきであると考え若い世代に大いに期待します。

地区だより**福生地区****春のワインパーティー**

4月18日、福生の「游」にて恒例のワインパーティーを行いました。宮川会長をはじめ、ワイン愛好の士達が自慢のワインを1本づつ持参して「うど」「タラの芽」「せり」等の山菜をさかなに盛り上りました。5本目くらいまでは産地や年代の話をしていましたが、後はワイワイガヤガヤと楽しく騒いで殆んど飲み干して、いつの間にやらビールパーティーになって終りました。

次回は夏にイタリア料理をさかなに開く予定にしています。
(岩尾)

**お知らせ****事務局よりお知らせ**

平成10年6月（5月診療分）の

保険請求書類提出日

6月8日（月）

——正午迄です。——

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禱八先生による法律相談を
毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽に
ご相談下さい。

- | | |
|--------|------------------------------------------------|
| ◎ 相談日 | 5月は13日（水） |
| | 6月は10日（水） の予定です。 |
| ◎ 場所 | 西多摩医師会館和室 |
| ◎ 内容 | 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、
刑事に関するどのようなものでも結構です。 |
| ◎ 相談料 | 無料（但し相談を超える場合は別途） |
| ◎ 申込方法 | 事前に医師会事務局迄お申込み願います。 |
- (注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

表紙のことば

『青梅銀座にて』

5月号に表紙の写真を出すように、と編集長からお話があり、今迄撮ったスライドをひっくり返してみましたが、年2回の写真展で目ぼしいのは出し尽くしてしまい、而も5月にふさわしい写真となると、いいのが見つかりません。遂に技術よりは雰囲気だということで、4年前のお祭りに青梅銀座の雑踏の中で撮った1枚を出すことにしました。時々、あの雑踏がなつかしくなります。

石井 好明

あとがき

今月号が現編集委員会最後の医師会報になります。振り返れば2年間はあっという間でした。不慣れな編集長をサポートしてくれた編集委員の諸先生方、温かく見守っていただいた会員の先生方には感謝しきれません。本当に有難うございました。

次号より新しい編集部での会報となります。御意見、旅行記、写真等投稿をお願いいたします。

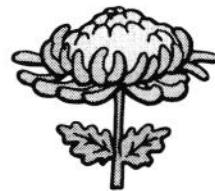
樋口 昭夫

訃報

青梅市長渕 5-1086

医社 幸悠会 鈴木慈光病院 理事長

鈴木幸雄先生 (67才)



去る4月12日逝去されました。
謹んでお悔み申し上げます。

社団法人 西多摩医師会

平成10年5月1日発行

会長 宮川栄次 〒198-0044 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 樋口昭夫

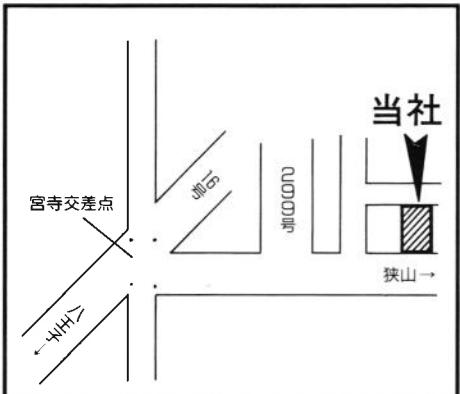
石井好明 片平潤一 百瀬真一郎 高水松夫

田村啓彦 奥野仁 小机敏昭

印刷所 マスターデザイン TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

健康と未来をみつめて!!

医療機関における各種検査、学校、事業所の検診
御利用の際は御連絡下さい



埼玉県登録衛生検査所

武藏臨床検査所

所長 杉田富徳

埼玉県入間市上藤沢309-8

TEL 0429(64)2621

FAX 0429(64)6659

R
RETAIL BANK
あさひ銀行

あなたのです。
あさひの街の

あさひ銀行

東青梅支店	TEL.0428-22-2121(代)	〒198 青梅市東青梅2-17-4
奥多摩特別出張所	TEL.0428-83-2515(代)	〒198-02西多摩郡奥多摩町水川1421
青梅支店	TEL.0428-22-1101(代)	〒198 青梅市青梅295
河辺支店	TEL.0428-24-2401(代)	〒198 青梅市河辺町10-2-9
福生支店	TEL.0425-51-1021(代)	〒197 福生市福生1048
村山支店	TEL.0425-61-1211(代)	〒208 武藏村山市中藤4234
秋川支店	TEL.0425-58-2611(代)	〒197 あきる野市下代継111-5
羽村支店	TEL.0425-79-0881(代)	〒205 羽村市五ノ神4-13-10
五日市支店	TEL.0425-96-1311(代)	〒190-01あきる野市五日市840-1



最新のテクノロジーが計測します
そして、人の眼と心が記録します

臨床検査のパイオニア
保健科学研究所

本社 〒240 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1661(大代表)
仙台支社 〒983 仙台市宮城野区西町1-3-5 TEL/022-236-9345(大代表)